

安全に使用するための注意

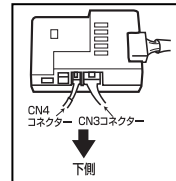
安全上の注意

⚠ 危険

- 車にボディーカバーなどを掛けた状態で、使用しないで下さい。火災の恐れがあります。
- リモコンでエンジンを始動するときは、車の近くに燃えやすい物がないことを確認して下さい。火災の恐れがあります。
- 密閉されたガレージ内では、使用しないで下さい。排気ガスが充満して危険です。
- 人(特にお子様)やペットが車内にいるときは、絶対にエンジンを始動しないで下さい。お子様やペットの思わぬ動きが、重大な事故の原因となります。
- 車検・整備などに出す際やボンネットを開けるときは、Guardog V-1/V-2本体のMODE2スイッチメニューの1「EGSパワースイッチ」を切して下さい。重大な事故の原因となります。

⚠ 警告

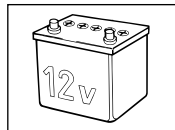
- アダプターなどの取り付けで、エンジンスターター本体のリッドを外した場合は、右図のようにCN3、CN4のコネクター面が下を向くように固定して下さい。
- 店頭の「適応車種一覧表 EGSシリーズ Guardogシリーズ」最新版の、V-10の欄に記載されている車へのみ取り付け出来ます。
- 斜面で使用する場合は、必ず輪止めをして下さい。



⚠ 注意



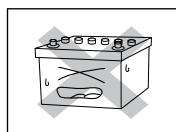
本品は、国産車専用です。並行輸入車・外国車へは、取り付け出来ません。



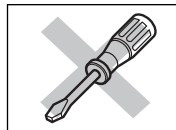
本品は、12V車専用です。24V車へは、取り付け出来ません。



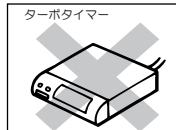
本品は、防水構造ではありません。水がかからないように注意して下さい。故障の原因となります。



車のバッテリーが弱っている場合や車本来の機能に不備がある場合は、正常に動作しないことがあります。



本品の分解・塗装・改造は絶対に行わないで下さい。火災・故障の原因となります。



他のエンジンスターターやターボタイマー・盗難警報装置との併用は、絶対にしないで下さい。故障や誤動作の原因となります。

- 本品でエンジンをかけているときは、エアコン(ヒーター)以外のスイッチをOFFにして下さい。リヤ熱線や大容量のオーディオなどを併用すると、本品のヒューズが切れることがあります。
- 暖気運転を行った直後に運行事前点検を行うと、火傷する恐れがあります。

使用上の注意

- エンジンスターターを使用する際は、必ずパーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPレンジの位置にして下さい。
- リモコンでエンジンを始動し、走行後エンジンを停止すると、Pレンジ以外でもエンジンキーが抜ける車があります。このような車は、付属の「安全センサーケーブル」でドアスイッチ配線(23ページ)を行い、乗車前に一旦エンジンを停止させて下さい。エンジンキーにて再始動することで、Pレンジ以外でエンジンキーが抜けることはありません。
- オートライト装着車に本品を取り付け、オートの状態で使用した場合、夜間にリモコンでエンジンを始動すると、車のライトが点灯しリモコンでのエンジン停止や自動停止後に消灯しません。バッテリー上がりの原因となりますので、ライトスイッチはOFFの状態で使用して下さい。一部の車種は「オートライトアダプター」(別売)を取り付けることで、オートの状態でも使用出来るようになります。
- エンジンキーでエンジンを始動したときに充電警告灯が消えない場合は、エンジンスターターの使用を止め、車の点検・整備をして下さい。
- オートチャイルドおよびマイコンプリセットステアリング装着車に取り付けた場合、リモコンでのアイドルリング中にエンジンキーを差し込んでもステアリングは動きません。一旦エンジンを停止させ、エンジンキーにて再始動して下さい。付属の「安全センサーケーブル」をドアスイッチ配線(23ページ)に接続することで、ドアを開けると同時にエンジンを停止させることも出来ます。
- 寒冷地では、エンジンがかかりにくいことがあります。スターター動作時間3秒以内で、エンジンが始動するように車を整備して下さい。
- バッテリーが弱っている車や改造車は、正常にエンジン始動出来ない場合があります。
- 環境保護のため、必要以上のアイドルリングは行わないで下さい。
- エンジンスターター(ターボタイマー含む)は、公道上で使用しないで下さい。公道上での使用は、違法となります。
- ヒューズを交換する際は、ヒューズ部が高温となって、火傷する恐れがあります。また使用中は、ヒューズ周辺の温度が上がります。

安全に取り付けるための注意

取り付け上の注意

⚠ 危険

- 本品を車に取り付ける際は、必ずエンジンキーを抜き、不用意にエンジンがかからない状態で作業して下さい。重大な事故の原因となります。

⚠ 警告

- 本品のコネクター部にドライバーなどの金属を接触させたり、異物を入れたりしないで下さい。内部でショートし、火災・故障の原因となります。
- 本品の本体は、運転の妨げになる場所やエアバッグの動作を妨げる場所に取り付けしないで下さい。事故の原因となります。
- ハーネス類などは、ステアリングシャフトやペダル類の可動部付近に固定しないで下さい。運転操作の妨げになり、事故の原因となります。
- 配線したハーネス類は、ビニールテープや結束バンドなどで確実に固定して下さい。また車のカバーや内張りなどで配線類が挟み込まれたりすると、断線やショートし、火災・故障の原因となります。
- 取り付け後に本品の本体や配線類が、しっかり固定されているか確認して下さい。固定が不十分だと脱落し、事故の原因となります。

⚠ 注意

- テスターで電圧を確認する場合を除き、バッテリーケーブルのマイナス端子を外して作業を行って下さい。外さずに作業すると配線がショートし、火災・故障の原因となります。外しかたについては、車両搭載装置に悪影響を与える恐れがありますので、お近くのカーディーラーやサービスマニュアルなどで確認して下さい。
- 本品の本体は、防水構造ではありません。水がかからない場所に取り付けて下さい。火災・故障の原因となります。
- 本品の本体は、エアコンの吹き出し口付近に取り付けしないで下さい。高温になったり結露し、故障の原因となります。
- エレクトロタップで配線する際は、エレクトロタップのカバーを確実にロックして下さい。エレクトロタップの金属部分が、車体の金属部分に接触するとショートし、火災・故障の原因となります。テピングすることをお奨めします。
- 車のカバーなどを外す際は、部品を破損しないように慎重に作業して下さい。カバーや内張りが元に戻らなくなる恐れがあります。
- アース線を固定する場合、塗装されている金属部分や車の振動などで緩んでしまう場所に接続しないで下さい。動作不良の原因となります。
- 接続していない端子部は、ビニールテープなどで絶縁処理して下さい。ショートし、火災・故障の原因となります。

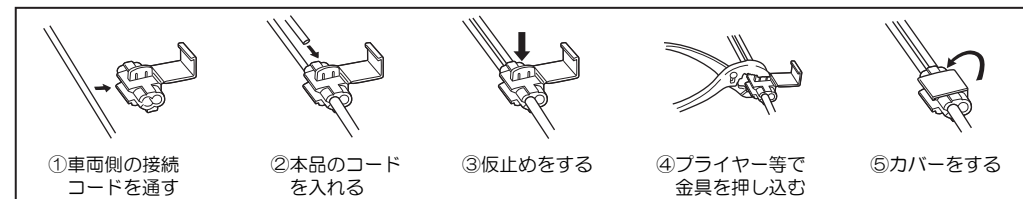
●取り付け工具について

ドライバー・プライヤー・ニッパ・スパナ・アナログテスター(検電ランプは使用不可)などの工具は、本品には同梱されていません。別途用意して下さい。

⚠ 注意

- 必ずテスターを使用して下さい。検電ランプを使用すると、車両の回路破損などの故障の原因となります。

●付属のエレクトロタップ(赤色)の接続方法



取り付け可能な車種

- 店頭の「適応車種一覧表 EGSシリーズ Guardogシリーズ」最新版の、V-10の欄に記載されている車であること。車種によって取り付け出来ない車や別売商品が必要となる車があります。

「適応車種一覧表 EGSシリーズ Guardogシリーズ」最新版の、V-10の欄を確認の上、車に適応した当社の車種別専用ハーネス(別売)を使用して下さい。また他のエンジンスターターやターボタイマー用ハーネスを流用・加工しての取り付けは、絶対にしないで下さい。

- スターター動作時間3秒以内で、エンジンが始動出来る車であること。

適応車種は、以下の条件を考慮して選定しております。

- オートマチック車であること。(マニュアル車には取り付け出来ません。)
- 国産車であること。
- 電子燃料噴射装置搭載車であること。(キャブレター車およびエンジン始動時にチョークレバー操作を必要とする車への取り付けは出来ません。)